

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|----------------|
| 施設番号 | 66-0784 |
| 施設名 | なごみ保育園 |
| 施設所在地 | 東京都町田市原町田5-1-5 |
| 法人名 | 社会福祉法人七五三会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
子ども達が日ごろからリズム遊びや楽器に触れる事を楽しんでいる姿が見られるので、音について深めていきたいため。

2. 活動スケジュール

- ① 2024年 9月13日(金) ～室内での音探し～(4歳児)
- ② 2024年 10月 9日(水) ～音の違いを描いて表現する～(4歳児)
- ③ 2024年 11月13日(水) ～様々な楽器に触れて音の違いを探す～(4歳児)
- ④ 2024年 12月 日() ～音を合わせる～(4歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ラジカセ、CD、大太鼓、小太鼓、グロッケン、木琴、ギロ、スズ、カスタネット、タンバリン、ウッドブロック、マラカス、ハンドベル
4名の子どもと、パーテーションで区切られた空間にて椅子に座って始める。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

様々な楽器、音に触れて音の違いを探す。子どもたちから楽器が見えない状態で音を鳴らし、「何の音に聞こえるか」「聞こえた音はどんな風に感じられるか」など問いかけていき、子どもたちの想像力を引き出す。実際に楽器に触れ、音を鳴らした時の気持ちを聞いたり、音の出る不思議を探した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

タンバリン、カスタネット、鈴→すぐに楽器の名前が出てきた。
マラカス→ドライバーの音・轟音している音
ギロ→聞いている子ども達の肩が上がった。誰かが来たような怖い音
小太鼓→お祭り、ゲームで聞いたことある
ウッドブロック→カッコウの音、カスタネットに似ている
グロッケン→ピアノ見たい・音が上がっていく(音階) 木琴→太鼓っぽい音
大太鼓→怖い、石が落ちて着そう、隣の人に抱きつきたくなる



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

あまり聞く機会のない、音の方が「○○かな？」等、イメージを楽しみ聞いたり言葉にしやすいそうであった。聞いた時に、怖いと感じた楽器は触る際にも、緊張して手を伸ばしにくい様子があり、音によりそのあとの反応や行動にも少なからず影響があるのだと感じた。直接触れる事で、振動や音の響きを感じられたことを多く言葉にして伝えている姿が印象的であった。